

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	水貝 洵子	職名	講師	学位	臨床心理修士 (専門職)
----	-------	----	----	----	--------------

研究分野	研究内容のキーワード
臨床心理学 発達臨床心理学	思春期 発達障害児者 生涯発達 アクションメソッド

研究課題
思春期における発達障害者への臨床心理学的支援の在り方について検討を行う。 臨床心理学的支援においても臨床動作法や心理劇などのアクションメソッドを用いた支援の在り方について検討を行う。

担当授業科目
家族心理学演習 (福祉学科, 前期) 保育の心理学Ⅱ (福祉学科, 前期) ヒューマンサービス基礎演習 (福祉学科, 前期) 臨床健康心理学 (看護学科, 後期) 障害者心理学 (福祉学科, 後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【家族心理学演習】</p> <p>家族の成立から、その後の家族がたどる発達段階について解説を行った。学生の担当者を決め、それぞれの発達段階における臨時的課題などについてレジュメにまとめ発表する機会を設けた。学生同士の活発な議論がおこるよう配慮した。また、ロールプレイングなどの手法を用い、保護者の気持ちの理解等について、行為化を通じ、体験的な学びにつながるよう工夫を行った。</p>
<p>授業科目名【保育の心理学Ⅱ】</p> <p>乳幼児の行動や行動変化の背景にある子どもの発達について解説を行った。具体的な乳幼児の子どもの様子をあげ、学生がイメージしやすいよう配慮した。また、発達状況にあわせた適切な関わり方について考える機会を設けた。子どもへの一律的な対応でなく、個性や発達状況に応じた関りについて考えることの重要性について伝えた。</p>
<p>授業科目名【ヒューマンサービス基礎演習】</p> <p>対人援助職の基礎として、他者との適切なコミュニケーションの在り方について体験し、対人関係における自分自身についての気づきを深める体験となることを目指し、様々なワークを行い、その都度、受講生自身による振り返りを行った。1年生前期での対人交流の演習のため、受講生の緊張感に配慮し、自発的にワークに臨めるようにワークの内容について吟味を行った。</p>
<p>授業科目名【臨床健康心理学】</p> <p>臨床心理学についての基礎知識および医療現場で出会う患者の心理についての解説を行った。受講生によって臨床心理学に関する基礎知識への理解度の差がみられたため、基礎的な内容について解説を行うとともに、医療現場ではどのように活かされるのか具体例を挙げたり、適切な対応例を挙げるなどして発展的な内容となるよう配慮した。</p>

授業科目名【障害者心理学】

精神障害から身体障害にわたり代表的な障害を取り上げ、診断的理解および社会生活において障害児者がどのような体験をしている可能性があるかについて生涯発達の見点から解説を行った。診断的理解にとどまらず、当事者の立場から障害について理解する視点が培われるよう、事例や当事者の手記等を適宜資料として提示した。実習等で本講義での知識が活かされるよう適切な援助の在り方についても、臨床心理学的援助を紹介しながら解説を行った。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本リハビリテーション心理学会		2010年4月～現在に至る
日本臨床心理劇学会		2010年4月～現在に至る
日本心理臨床学会		2013年4月～現在に至る
特殊教育学会		2016年4月～現在に至る
発達心理学会		2016年4月～現在に至る
日本心理学会		2019年4月～現在に至る

2019年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 該当なし				
(学術論文) 該当なし				
(翻訳) 該当なし				
(学会発表) 該当なし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床心理センター 大分県立病院	研究員 非常勤心理士	2019年4月～2020年3月 2019年4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

学生個人情報保護委員会 2019年4月～現在に至る
